

実行禁止ファイルから完全な保護

ザーガイド



www.faronics.com



最新更新日:2023年1月

1999 – 2023 Faronics Corporation. All rights reserved.Faronics、Deep Freeze、Deep Freeze Cloud、Faronics Deploy、Faronics Core Console、Faronics Anti-Executable、Faronics Anti-Virus、 Faronics Device Filter、Faronics Data Igloo、Faronics Power Save、Faronics Insight、Faronics System Profiler、WINSelect は Faronics Corporationの商標および / または登録商標です。その他すべ ての会社名および製品名はそれぞれの所有者の商標です。



目次

重要な情報 Faronicsについて 製品マニュアル	. 6 . 6 . 6
テクニカルサポート お問い合わせ	.7 .7
用語の定義	. 8
はじめに	11
Anti-Executable 概要 Anti-Executableについて Anti-Executableのエディションについて. Faronics Core Consoleについて.	12 12 12 12
システム要件 コンソール要件 ワークステーションの要件	13 13 13
Anti-Executable のライセンス	14
Anti-Executableのインストール	15
インストール概要	16
Anti-Executable Loadin のインストール	17
フークステーション上での Anti-Executable の手動インストール	20
Faronics Core Console を使用した、ワークステーション上での Anti-Executable のインストールまたはアッ プグレード	23
Anti-Executableへのアクセス	25
Anti-Executableへのアクセス	25 26
Anti-Executableへのアクセス 既要 Faronics Core Console から Anti-Executable へのアクセス	25 26 27
Anti-Executableへのアクセス 既要 Faronics Core Console から Anti-Executable へのアクセス Faronics Core ConsoleのAnti-Executableの列	25 26 27 27
Anti-Executableへのアクセス 既要 Faronics Core Console から Anti-Executable へのアクセス Faronics Core ConsoleのAnti-Executableの列 Faronics Core ConsoleからAnti-Executableコマンドの実行 (Loadinメニュー)	25 26 27 27 27 27
Anti-Executableへのアクセス 既要 Faronics Core Console から Anti-Executable へのアクセス Faronics Core ConsoleのAnti-Executableの列 Faronics Core ConsoleからAnti-Executableコマンドの実行 (Loadinメニュー) Faronics Core ConsoleからAnti-Executableコマンドの実行 (コンテキストメニュー) アクションのスケジュール設定	25 26 27 27 27 29 30
Anti-Executableへのアクセス 既要 Faronics Core Console から Anti-Executable へのアクセス Faronics Core ConsoleのAnti-Executableの列 Faronics Core ConsoleからAnti-Executableコマンドの実行 (Loadinメニュー) Faronics Core ConsoleからAnti-Executableコマンドの実行 (コンテキストメニュー) アクションのスケジュール設定 フークステーション上での Anti-Executable Enterprise へのアクセス	25 26 27 27 27 29 30 31
Anti-Executableへのアクセス 既要 Faronics Core Console から Anti-Executable へのアクセス Faronics Core ConsoleのAnti-Executableの列 Faronics Core ConsoleからAnti-Executableコマンドの実行 (Loadinメニュー) Faronics Core ConsoleからAnti-Executableコマンドの実行 (コンテキストメニュー) アクションのスケジュール設定 フークステーション上での Anti-Executable Enterprise へのアクセス Anti-Executableの使用	 25 26 27 27 29 30 31 33
Anti-Executableへのアクセス 既要 Faronics Core Console から Anti-Executable へのアクセス Faronics Core ConsoleのAnti-Executableの列 Faronics Core ConsoleからAnti-Executableコマンドの実行 (Loadinメニュー) Faronics Core ConsoleからAnti-Executableコマンドの実行 (コンテキストメニュー) アクションのスケジュール設定 フークステーション上での Anti-Executable Enterprise へのアクセス Anti-Executableの使用	 25 26 27 27 29 30 31 33 34
Anti-Executableへのアクセス 既要 Faronics Core Console から Anti-Executable へのアクセス Faronics Core ConsoleのAnti-Executableの列 Faronics Core ConsoleからAnti-Executableコマンドの実行 (Loadinメニュー) Faronics Core ConsoleからAnti-Executableコマンドの実行 (コンテキストメニュー) アクションのスケジュール設定 フークステーション上での Anti-Executable Enterprise へのアクセス Anti-Executableの使用 既要 括管理リストの作成	 25 26 27 27 29 30 31 33 34 35
Anti-Executableへのアクセス 既要 Faronics Core Console から Anti-Executable へのアクセス Faronics Core ConsoleのAnti-Executableの列 Faronics Core ConsoleからAnti-Executableコマンドの実行 (Loadinメニュー) Faronics Core ConsoleからAnti-Executableコマンドの実行 (コンテキストメニュー) アクションのスケジュール設定 フークステーション上での Anti-Executable Enterprise へのアクセス Anti-Executableの使用 既要 一括管理リストの作成. Anti-Executable ポリシー	 25 26 27 27 29 30 31 33 34 35 38
Anti-Executableへのアクセス 既要 Faronics Core Console から Anti-Executable へのアクセス Faronics Core ConsoleのAnti-Executableの列 Faronics Core ConsoleからAnti-Executableコマンドの実行 (Loadinメニュー) Faronics Core ConsoleからAnti-Executableコマンドの実行(コンテキストメニュー) アクションのスケジュール設定 フークステーション上での Anti-Executable Enterprise へのアクセス Anti-Executableの使用 既要 	 25 26 27 27 29 30 31 33 34 35 38 46
Anti-Executableへのアクセス 既要 Faronics Core Console から Anti-Executable へのアクセス Faronics Core ConsoleのAnti-Executableの列 Faronics Core ConsoleからAnti-Executableコマンドの実行 (Loadinメニュー) Faronics Core ConsoleからAnti-Executableコマンドの実行 (コンテキストメニュー) アクションのスケジュール設定 フークステーション上での Anti-Executable Enterprise へのアクセス Anti-Executableの使用 既要 一括管理リストの作成. Anti-Executable ポリシー. Anti-Executable の設定 ステータスタブ.	 25 26 27 27 29 30 31 33 34 35 38 46 47
Anti-Executableへのアクセス	25 26 27 27 27 30 31 31 33 34 35 38 46 47 47
Anti-Executableへのアクセス	 26 27 27 27 29 30 31 33 34 35 38 46 47 47 48 46
Anti-Executableへのアクセス 概要 Faronics Core Console から Anti-Executable へのアクセス Faronics Core ConsoleのAnti-Executableの列 Faronics Core ConsoleからAnti-Executableコマンドの実行(Loadinメニュー) Faronics Core ConsoleからAnti-Executableコマンドの実行(コンテキストメニュー) アクションのスケジュール設定 フークステーション上での Anti-Executable Enterprise へのアクセス Anti-Executableの使用 概要 一括管理リストの作成. Anti-Executable ポリシー. Anti-Executable の設定 ステータスタブ 製品情報の確認 Anti-Executable保護の有効化. Anti-ExecutableのMaintenance Mode. Faronics Core Consoleから設定の取得	 26 27 27 27 29 30 31 33 34 35 38 46 47 48 49
Anti-Executableへのアクセス 概要 Faronics Core Console から Anti-Executable ヘのアクセス Faronics Core ConsoleからAnti-Executableの列 Faronics Core ConsoleからAnti-Executableコマンドの実行 (Loadinメニュー) Faronics Core ConsoleからAnti-Executableコマンドの実行 (コンテキストメニュー) アクションのスケジュール設定 フークステーション上での Anti-Executable Enterprise へのアクセス Anti-Executableの使用 概要 一括管理リストの作成. Anti-Executableの設定 ステータスタブ 製品情報の確認 Anti-ExecutableのMaintenance Mode. Faronics Core Consoleから設定の取得 実行管理リストタブ	 26 27 27 27 29 30 31 33 34 35 38 46 47 47 48 49 50
Anti-Executableへのアクセス	25 26 27 27 27 30 31 33 33 34 35 38 46 47 47 48 48 49 50 51



Anti-Executable管理者または信頼ユーザーの削除52 Anti-Executableパスワードの有効化52
[一時実行モード]タブ
セットアップタブ
DLL実行のモニタ
VBScript実行のモニタ
Anti-Executableのステルス機能
Faronics Core Console を使用した Anti-Executable レポートの作成
コマンドライン コントロール
コマンドラインコントロール
Anti-Executableのアンインストール
Faronics Core Console を使用した、ワークステーション上での Anti-Executable のアンインストール 64
インストーラを使った Anti-Executable Loadin のアンインストール
Anti-Executable Loadin のアンインストール(プログラムの追加と削除)



序文

Faronics Anti-Executable は、許可された実行可能ファイルのみをワークステーション やサーバーで実行できるようにすることにより、エンドポイントでのセキュリティを確 実にするソリューションです。

トピック

重要な情報 テクニカルサポート 用語の定義





このセクションには Anti-Executable についての重要な情報を記載しています。

Faronics について

Faronics は、マルチユーザーコンピューティング環境の管理、簡素化、安全保護を支援するソフトウェアを提供します。当社の製品は、ワークステーションの 100% の可用性を保証し、IT 担当者を面倒な技術サポートやソフトウェアの問題から解放してきました。学校施設をはじめ、医療機関、図書館、政府組織、または法人企業でFaronicsの顧客中心の取り組みによるパワフルなテクノロジー改革を有効にご使用いただいています。

製品マニュアル

Faronics Anti-Executable のテクニカルガイドは、以下のマニュアルで構成されています:

- Faronics Anti-Executable ユーザーガイド: このマニュアルでは製品の使用方法を説 明します。
- Faronics Anti-Executable リリースノート: このドキュメントには新しい機能、既 知の問題、解決された問題が記載されています。
- Faronics Anti-Executable の機能説明書:この説明書には最新の機能が記載されています。
- Faronics Anti-Executable readme.txt: このドキュメントではインストールプロセス を説明します。



テクニカルサポート

当社では、使いやすく、問題のないソフトウェアを設計するためにあらゆる努力を重ねています。万が一、問題が発生した場合は、テクニカルサポートまでご連絡ください。
Web:support.faronics.com
マリーダイヤル(北米):1-800-943-6422
電話番号:1-604-637-3333
営業時間:月曜日~金曜日 午前7時から午後5時(太平洋標準時刻)

お問い合わせ

本社

Faronics Corporation 609 Granville St., Suite 1400 Vancouver, BC V7Y 1G5, Canada

Web:www.faronics.com

電子メール :sales@faronics.com 電話番号 :800-943-6422 または 604-637-3333 ファックス :800-943-6488 または 604-637-8188 営業時間 : 月曜日~金曜日 午前7時から午後5時(太平洋標準時刻)

Faronics Technologies USA Inc. 5506 Sunol Blvd, Suite 202 Pleasanton, CA, 94566, USA

Faronics EMEA 8, The Courtyard, Eastern Road Bracknell, Berkshire RG12 2XB, United Kingdom

Faronics Pte Ltd 160 Robinson Road #05-05 SBF Center Singapore 068914



用語の定義

用語	
アラート	実行禁止ファイルを起動しようとすると、表示される通知ダイア ログです。Anti-Executable の管理者は、アラートのメッセージ と画像を指定できます。
Anti-Executable 管理者	Anti-Executable 管理者は、すべての Anti-Executable 設定オプ ションにアクセスできます。Anti-Executable ユーザーの管理、 Anti-Executable 保護の有効化または無効化の設定、 Anti-Executable のアンインストールやアップグレードを行うこ とができます。
Anti-Executable Loadin	Faronics Core Console の機能を拡張するソフトウェアライブラ リで、リモートワークステーションにインストールされた Anti-Executable の構成と操作に対し完全なコントロールを可能 にします。
Anti-Executable 信頼ユーザー	Anti-Executable の保護を「有効」または「無効」に設定できま す。Anti-Executable をアンインストールしたりアップグレード することはできません。
一括管理リスト	Anti-Executable のインストール後に Faronics Core を初めて起 動すると、設定を促すメッセージを受け取ります。コンソールコ ンピュータのファイルと発行者を追加することで、一括管理リス トを設定できます。その後に、ポリシーを通じてこの一括管理リ ストをワークステーションに適用できます。一括管理リストは1 回作成するだけですが、ポリシーを通じて1台以上のワークス テーションに複数回適用することができます。
実行可能ファイ ル	オペレーティングシステムによって実行できるすべてのファイ ル。Anti-Executable によって管理される実行可能ファイルで、 .scr、.jar、.bat、.com、または .exe という拡張子が付いている もの。.dll という拡張子が付いたダイナミックリンクライブラリ は、[設定]タブで設定されていれば管理されます。
実行管理リスト	実行管理リストは、Anti-Executable がファイルまたは発行者を 管理する方法を定義します。この実行管理リストは、ファイルを 「許可」または「ブロック」するかどうかを定義します。
外部ユーザー	Anti-Executable 管理者ユーザーまたは Anti-Executable 信頼 ユーザーのいずれでもないその他すべてのユーザー。 外部ユーザーは、実行許可ファイルのみを実行でき、 Anti-Executable の構成を操作することはできません。オペレー ティングシステムによって指定されたユーザー権限に関係なく、 この制限は適用されます。



用語	。 「定義」(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(
Faronics Core Agent	Faronics Core Console との通信を可能にするために、ワークス テーション上にインストールされるソフトウェア。
JAR	JAR (Java Archive) は、多数の Java クラスファイル、関連するメ タデータとリソース (テキスト、画像など)を1つのファイルに まとめたアーカイブファイル形式の1つで、Java プラット フォームでのアプリケーションソフトウェアまたはライブラリの 配布に使用されます。
Maintenance Mode	Maintenance Mode になっているときに、追加または修正された 新しい実行可能ファイルは、自動的にローカル管理リストに追加 されます。
ポリシー	ポリシーは Anti-Executable 設定の集まりです。複数のポリシー を作成して、Faronics Core からワークステーションに適用でき ます。新しいをポリシーを作成したり、既存のポリシーを編集し たり、ポリシーを削除することができます。
保護	[有効化]に設定すると、一括管理リストとローカル管理リスト に基づいて、Anti-Executable によりワークステーションが保護 されていることをこの設定が示します。[無効化]に設定すると、 あらゆる実行可能ファイルをワークステーション上で実行するこ とができます。
発行者	発行者とはファイルの作成者を指します。発行者はデジタル署名 でファイルを認証します。Anti-Executable では、発行者の名前、 製品のファイル名、バージョンの詳細を使って、発行者が作成し たファイルを識別します。
ステルスモード	ステルスモードは、システム上の Anti-Executable の存在を視覚 的に示すアイコンなどを管理する複数のオプションです。ステル スモードでは、管理者は、Windows のシステムトレイで Anti-Executable のアイコンを非表示にしたり、アラートが表示さ れないようにするオプションを利用できます。
一時実行モード	一時実行モードにより、指定期間中、Anti-Executable からの操作なしで、ユーザーは実行可能ファイルを実行できます。この期間中は、制限を受けずに、実行可能ファイルを実行することができます。ブロックされた実行可能ファイルは、実行が許可されません。
信頼実行可能 ファイル	信頼実行可能ファイルでは、実行禁止になっているその他の実行 可能ファイルを実行することができます。
実行禁止ファイ ル	実行禁止ファイルは、実行が許可されていないファイルです。
ワークステー ション	システム要件で指定されたオペレーティングシステムを使用する クライアントまたはリモートコンピュータ。







はじめに

Anti-Executable は、許可されたアプリケーションのみをコンピュータまたはサーバー 上で実行できるようにすることによって、エンドポイントの完全な生産性を保証しま す。プログラムが有害であるか、無許可であるか、または不必要であるかに関わらず、 無許可プログラムの実行は常にブロックされます。

トピック

Anti-Executable 概要 システム要件 Anti-Executable のライセンス



Anti-Executable 概要

Anti-Executable について

Faronics は、マルチユーザーコンピューティング環境の管理、簡素化、安全保護を支援するソフトウェアを提供します。当社の製品は、ワークステーションの 100% の可用性を保証し、IT 担当者を面倒な技術サポートやソフトウェアの問題から解放してきました。学校施設をはじめ、医療機関、図書館、政府組織、または法人企業でFaronicsの顧客中心の取り組みによるパワフルなテクノロジー改革を有効にご使用いただいています。

Anti-Executable のエディションについて

Faronics Anti-Executable には 4 つの異なるエディションがあります。サーバーまたは ワークステーションであろうと、スタンドアロンまたはネットワークの一部であろう と、Anti-Executable は必要とされる保護を提供します。ニーズに最も適した Anti-Executable のエディションを選択してください。

エディション	保護のために使用する Anti-Executable
Standard	非サーバーオペレーティングシステムが稼働している1台のス タンドアロンコンピュータ
Server Standard	サーバーオペレーティングシステムが稼働している1台のスタ ンドアロンコンピュータ
Enterprise	非サーバーオペレーティングシステムが稼働している複数のコ ンピュータ
Server Enterprise	サーバーオペレーティングシステムが稼働している複数のコン ピュータ

Faronics Core Console について

Faronics Core Console は、複数の Faronics 製品を管理するための統合されたフレー ムワークです。これは、表示、管理、インストール、更新、ワークステーションと サーバーの保護を1つのコンソールから行う、信頼性が高く一貫性のある方法を提供 しています。Faronics 製品の完全な管理ソリューションによって、組織の効率性を高 めることができます。

Faronics Core Console は、Anti-Executable および Anti-Executable Server のエン タープライズエディションを管理します。



システム要件

コンソール要件

Faronics Core Console システム要件の情報は、www.faronics.com/library からダウン ロードできる Faronics Core Console のユーザーズガイドに記載されています。

ワークステーションの要件

Anti-Executable は、以下のオペレーティングシステムにインストールできます。

- Windows 7、Windows 8.1、Windows 10、Windows 11 バージョン 22H2 までの 32 ビット版および 64 ビット版
- Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2016、 Windows Server 2019、Windows Server 2022



Anti-Executable のライセンス

Anti-Executable には完全版と評価版があります。評価版は無料で Faronics のウェブ サイト (www.faronics.com) からダウンロードできます。評価版をインストールすると 30 日間使用できます。評価版の有効期限が切れると、コンピュータは保護されません。 アンインストールするか、完全版にアップグレードする必要があります。完全版でコ ンピュータを保護するには、有効なライセンスキーが必要です。

Anti-Executable のライセンスは以下のように機能します。

Core Server (Faronics Core のコンポーネント) はライセンスキーを自動的に Anti-Executable クライアントがインストールされたワークステーションに適用します (コンピュータがオフラインの場合、ライセンスキーはコンピュータがオンラインに 戻ったときに一度適用されます)。



Faronics Anti-Executable ライセンスキーを Loadin のインストール中に 入力した場合、[プロパティ]タブでもう一度入力する必要はありません。



Anti-Executable サーバー版は、非サーバーオペレーティングシステムに インストールすることはできません。Anti-Executable サーバー版のライ センスキーは、非サーバー版で使用することはできません。

Anti-Executable 非サーバー版は、サーバーオペレーティングシステムに インストールすることはできません。Anti-Executable 非サーバー版のラ イセンスキーは、サーバー版で使用することはできません。



Anti-Executable のインストール

この章では Anti-Executable のインストールプロセスについて説明します。

トピック

インストール概要 Anti-Executable Loadin のインストール

インストール概要



Faronics Core Console から Anti-Executable 専用のタスクを容易に実行できるように するために、Anti-Executable Loadin をインストールする必要があります。Loadin が インストールされると、Faronics Core Console を使って、リモートコンピュータ上で Anti-Executable をインストール、アップグレード、アンインストールすることができ ます。

Anti-Executable が配備できたら、Faronics Core Console を使って、Anti-Executable のすべてのタスクとコマンドを管理できます。

Faronics Core Console を使って、リモートコンピュータにインストールする場合、適切なインストーラが自動的に選択されます。ただし、手動でインストールする前に、 オペレーティングシステムのバージョンを確認し、以下のリストからインストーラを 選択してください。

システム	インストールファイル
Windows (32 ビット)	AEEnt_32-bit.msi
Windows (64 ビット)	AEEnt_64-bit.msi
Windows Server (32 ビット)	AESrvEnt_32-bit.msi
Windows Server (64 ビット)	AESrvEnt_64-bit.msi



Anti-Executable Loadin のインストール



Anti-Executable Loadin は、Faronics Core Console がインストールされ ていないコンピュータにインストールすることはできません。

Anti-Executable は、セットアップウィザードを使用してインストールすることができ ます。Anti-Executable をインストールするには、以下の手順を実行します。

 Anti-Executable をインターネット経由でダウンロードした場合は、 Anti-Executable_Console_Loadin_Installer.exe ファイルをダブルクリックして、インストールプロセスを開始します。[次へ]をクリックして、続行します。

By ratonics Anti-Executable E	
	Faronics Anti-Executable Loadinのセットアッ プウィザードへようこそ
ANTI EXECUTABLE	セットアップウィザードはFaronics Anti-Executable Loadinをコンピ ュータにインストールします。次へ をクリックするとインストールを継 続します。キャンセル をクリックすると、セットアップウィザードを終 了します。
	警告:このブログラムは著作権法および国際条約により保護さ れています。
www.faronics.com	パージョン 5.00.2100.515
	< 戻る(8) 次へ(11) キャンセル

2. 使用許諾契約書を読み、同意します。[次へ]をクリックして、続行します。





 ユーザー名と組織を入力します。Anti-Executable Enterprise または Anti-Executable Server Enterprise のライセンスキーを入力します。評価版をイン ストールするには、[評価版を使用]を選択します。

Faronics Anti-Executable Loadin Setup	
お客様情報 お客様の情報を入力してください。	
ユーザ名心:	
Windows User	
組織(0):	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
Anti-Executable Enterpriseライセンスキー:	_
 30日間評価版の使用(S)	
Anti-Executable Server Enterpriseライセンスキー:	-
 30日間評(価版の使用(E)	バージョン 5.00.2100.51
(<戻る(B)	次へ(N) > キャンセル

デフォルトは、C:\Program Files\Faronics\Faronics Core
 3\Loadins\Anti-Executable です。[インストール]をクリックして、続行します。

🛃 Faronic	s Anti-Executable Loadin - セットアップウィザード 💿 💷
プログラ ウィザート	ムをインストールする準備ができました。
	Faronics Anti-Executable Loadinのインストール先: C:¥Program Files¥Faronics¥Faronics Core 3¥Loadins¥Anti-Executable¥
	「インストール」をクリックして、インストールを開始してください。 インストール設定を見直しまたは変更する場合は、戻るをクリックします。ウィザードを閉じて、 インストールプロセスを終了するには、キャンセルをクリックします。
	パージョン 5.00.2100.515
	<戻る(B) インストール(1) キャンセル

5. インストールを正常に完了するには、Faronics Core Server Service を再起動する必要があります。Faronics Core Server Service を再起動するには、[はい]をクリックします。後でサービスを手動で再起動するには、[いいえ]をクリックします。

😸 Faroni	cs Anti-Executable Loadin - セットアッ 🦳 💷 🔜		
♪	インストールを正常に終了するには、Faronics Core Serverサー ビスを再起動する必要があります。 Faronics Core Serverサービスを再起動すると、有効なセッショ ンの接続がすべて切断されます。今これを行いますか?		
	Faronics Core Serverサービスを今再起動するには、はいを 選択します。		
	Faronics Core Serverサービスを後で手動で再起動するに は、いいえを選択します。		
	(tim) (time)		



6. [完了]をクリックして、インストールを終了します。



Loadin のインストールが正常に行われた後に、ワークステーションを1台以上選択す ると、Faronics Core Console により [アクション]ペインに Anti-Executable 専用の 機能リストが表示されます。また、以下に示されるように、ワークステーションリスト に特定の列が表示されます。Anti-Executable の機能は、1台以上のワークステーショ ンを選択し、右クリックしてコンテキストメニューを表示し、その中から使用すること もできます。



ワークステーション上での Anti-Executable の手動インストール

ワークステーションに Anti-Executable をインストールする前に、Anti-Executable Loadin がインストールされたコンピュータの C:\Program Files\Faronics\Faronics Core 3\Loadins\Anti-Executable\Workstation Installers というパスにある適切 な.msi ファイルを1台以上のワークステーションにコピーします。

ファイルをコピーした後に、ワークステーションに Anti-Executable を手動でインス トールするには、以下の手順を実行します。

1. .msi ファイルをダブルクリックして、インストールプロセスを開始します。[次へ] をクリックして、続行します。

👸 Faronics Anti-Executable E	interprise Edition - Setup Wizard 📃 🔲 💌
	Welcome to the Setup Wizard for Faronics Anti-Executable Enterprise Edition The Setup Wizard will install Faronics Anti-Executable Enterprise Edition on your computer. To continue, click Next.
www.faronics.com	WARNING: This program is protected by Copyright law and international treaties. Version 5.00.2111.513
	< Back Next > Cancel

2. 使用許諾契約書に同意します。[次へ]をクリックして、続行します。

Faronics Anti-Executable Enterprise Edition	- Setup Wizard	
License Agreement Please read the following license agreement care	fully.	
Faronics Anti-Executable		
Faronics Corporation Copyright 1999-2012 All Rights Reserved		
Master Software License Agreemen	t	
LICENSE GRANT: Faronics hereby grants the I to install, use, access, display, run, or otherwis computer. All other rights are expressly reserve	Licensee a limited, nor e interact with ("Use" ed by Faronics.	n-exclusive license) the Product on a
● I accept the terms in the license Agreement ○ I do not accept the terms in the license Agree	ement	Print Version 5.00.2111.51
	< Back Next	t > Cancel



3. ユーザー名と組織を入力します。[次へ]をクリックして、続行します。

User Name:	
core	
Organization:	
I	
Use Evaluation (30 days)	

4. [インストール先フォルダ]を指定します。デフォルトの場所は、C:\Program Files\Faronics\AE です。[次へ]をクリックして、続行します。

😸 Faronics Anti-Executable Enterprise Edition - Setup Wizard	
Destination Folder Select a folder where the application will be installed.	
Install Faronics Anti-Executable Enterprise Edition to:	
C:\Program Files\Faronics\AE\	
Browse	
	Version 5.00.2111.513
< Back Nex	t > Cancel

5. AE Administrator のユーザーパスワードと AE 信頼ユーザーのパスワードを指定します。[次へ]をクリックして、続行します。

😸 Faronics Anti-Executable Enterprise Edition - Setup Wizard	
Installation Configuration Enter the following information to personalize your installation.	
AE Administrator User Password (Optional) Enter P <u>a</u> ssword: Re-Enter Password:]
AE Trusted User Password (Optional) Enter Password: Re-Enter Password:]
<pre><back nex<="" pre=""></back></pre>	Version 5.00.2111.513



- 6. 以下のオプションを選択して、[インストール]をクリックします。
 - > 管理リストの作成時に DLL ファイルを含める :DLL を含める場合は、このオプションを選択します。



7. [OK] をクリックして、コンピュータを再起動します。後でコンピュータを再起動するには、[キャンセル]をクリックします。



8. [完了]をクリックして、インストールを終了します。



Faronics Core Console を使用した、ワークステーション上での Anti-Executable のインストールまたはアップグレード

Anti-Executable Loadin をインストールすることによって、リモートコンピュータの保護に必要な Anti-Executable のインストールファイルがアンバンドルされます (アンバンドルされるファイルは、インストールしている Anti-Executable のエディションによって異なります)。



Faronics Core Console を使って Anti-Executable をインストールする前 に、Faronics Core Agent が各ワークステーションにインストールされて いる必要があります。Faronics Core Agent により、Faronics Core Agent がインストールされたワークステーションと Faronics Core Console との通信が可能になります。Faronics Core Agent の配備プロセ スの詳細については、www.faronics.com/library からダウンロードでき る『Faronics Core Console ユーザーガイド』を参照してください。

Anti-Executable ファイルがアンバンドルされるデフォルトの場所は、C:\Program Files\Faronics\Faronics Core\Loadins\Anti-Executable\Workstation Installers です。

1 台以上のワークステーションに Anti-Executable をインストールまたはアップグレー ドするには、以下の手順を実行します。

- Faronics Core Console のリストで1台以上のワークステーションを選択し、[アクション]ペイン> [Anti-Executable] > [Anti-Executable のインストール/アップグレード]を選択するか、Faronics Core Console のリストでワークステーションを右クリックし、[Anti-Executable] > [Anti-Executable のインストール/アップグレード]を選択します。
- 2. ワークステーション証明書を指定します。これには2つのオプションがあります。
- Anti-Executable の最初のユーザーとして、ローカルワークステーションのアカウントを使用するには、[ローカルワークステーションアカウント]を選択してします。 ユーザー名を指定します。[OK]をクリックします。
- Anti-Executable の最初のユーザーとして、ドメインのアカウントを使用するには、 [ドメインアカウント]を選択してします。ドメインとユーザー名を指定します。 [OK] をクリックします。
- 5. [インストールのカスタマイズ]ダイアログが表示されます。AE 管理者のパスワード、AE 信頼ユーザーのパスワード、およびライセンスキーを指定します。以下のオプションから1つ選択します。
 - > ローカル管理リストの作成時に DLL ファイルを含める:スキャン時に、DLL (ダ イナミックリンクライブラリ)を含めます。
 - > インストール後のワークステーションの再起動を後で行う:インストール後の再 起動を後で行います。Anti-Executable が正常に機能するには、再起動が必要で す。
- 6. [OK] をクリックして、Anti-Executable をインストールします。Anti-Executable が インストールされ、管理リストが有効となります。



🗟 Anti-Executable
インストールのカスタマイズ: AE管理者ユーザパスワード(オプション)
バスノンドの八刀山・ パスワードの再入力(E): AF 信頼ユーザ パスワード (オプション)
パスワードの入力(2):
- インストールオプション - ローカル管理リストの作成時にDLLを含める(()
 ワークステーションの再起動を1 シストール12に11 フリーク OK キャンセル



Anti-Executable へのアクセス

トピック

概要

Faronics Core Console から Anti-Executable へのアクセス ワークステーション上での Anti-Executable Enterprise へのアクセス





許可されたユーザーがログインしている場合、そのユーザーが Faronics Core Console を使用して、または配備されたワークステーションから直接 Anti-Executable Enterprise にアクセスできます。



Faronics Core Console から Anti-Executable へのアクセス

Faronics Core Console のワークステーションリストから1台のワークステーションを 選択し、[アクション]ペインから[Anti-Executable の構成]を開くか、リストでワー クステーションを右クリックし、[Anti-Executable の構成]を選択することで、 Faronics Core Console から Anti-Executable にアクセスできます。

Faronics Core Console の Anti-Executable の列

Anti-Executable に関する以下の列が [結果] ペインに表示されます。

- ステルス:この列には Anti-Executable がステルスモードで実行されているかどうか が示されます。
- 保護:この列では以下のいずれかが示されます。
 - > 有効化:[有効化]に設定していると、Anti-Executable でローカル実行リストを 使って、ワークステーションが保護されていることが示されます。
 - > 無効化:[無効化]に設定していると、すべての実行可能ファイルをワークステーション上で実行することができます。
 - > Maintenance Mode:Maintenance Mode になっているときに、[有効化]が選択 されていると、新しく追加された実行可能ファイルや変更された実行可能ファイ ルが自動的にローカル実行リストに追加されます。[無効化]を選択すると、 Anti-Executable で変更は記録されません。
 - > 一時実行モード:[一時実行モード]に設定すると、実行可能ファイルをワークス テーションで実行できます。
- ポリシー名:ワークステーションに適用されるポリシーの名前。
- バージョン: この列には Anti-Executable のバージョンが示されます。
- ロギング:この列ではロギングオプションが有効になっているか、無効になっているかが示されます。
- ライセンスの種類:この列ではライセンスが評価版であるか、完全版であるかが示されます。
- マウス / キーボード:この列では、選択されたワークステーションのマウスとキー ボードが有効になっているか、無効になっているかが示されます。

ワークステーションリストの他の列の詳細については、www.faronics.com/library から ダウンロードできる『Faronics Core Console ユーザーガイド』を参照してください。

Faronics Core Console から Anti-Executable コマンドの実行 (Loadin メニュー)

Anti-Executable のコマンドは、Anti-Executable Loadin のコンテキストメニューを右 クリックしてアクセスできます。

Loadin メニューでは以下のコマンドが使用できます。



一括管理リストの管理

このコマンドは一括管理リストを管理するために使用します。一括管理リストは、 ファイルと発行者が保存される場所です。一括管理リストは、ポリシーを通じて1台 以上のワークステーションに適用できます。

新規ポリシー

ポリシーとは設定の集まりを指します。このコマンドは新しいポリシーを作成すると きに使用します。ポリシーは1台以上のワークステーションに適用できます。ポリ シーでは、一括管理リストの項目を「許可」または「ブロック」に定義できます。

保護

Anti-Executable 保護を素早く有効化または無効化するには、1 台以上のワークステーションを選択して、[アクション]ペインで[保護]>[有効化]または>[無効化]をクリックします。

Maintenance Mode

Anti-Executable が Maintenance Mode で実行されるように設定できます。 Maintenance Mode の間はどの実行可能ファイルも実行が許可されます。 Maintenance Mode は新しいアプリケーションやアプリケーションのアップグレード のインストールに使用します。

キーボードとマウス

[キーボード / マウス]をクリックし、[有効化]または[無効化]を選択すると、1台 または複数のワークステーション上のキーボードとマウスを無効または有効にできま す。

AE ユーザーの管理

このオプションを選択すると、Anti-Executable ユーザーを管理できます。

一時実行モード

ー時実行モードにより、指定期間中、Anti-Executable からの操作なしで、ユーザーが 実行可能ファイルを実行できます。ワークステーションを選択して、[一時実行モード]を選択し、[5]、[15]、[30]、[45]、[60]、または[カスタム]を選択します。[一時実 行モード]を無効にするには、ワークステーションを選択し、[一時実行モード]>[無効化]を選択します。

ローカル管理リストのスキャンの開始

ワークステーション上のファイルをスキャンして管理リストのスキャンを開始します。 これによりファイルと発行者のローカルリストが作成されます。管理リストに追加さ れたすべてのファイルと発行者は、デフォルトで「許可」に設定されています。

ポリシーを再びアサイン

ワークステーションに現在適用されているポリシーを再度アサインします。



Anti-Executable クライアントの設定

このオプションを選択すると、ワークステーションで Anti-Executable クライアントを 設定できます。

Anti-Executable クライアントのインストール / アップグレード

このオプションを選択すると、Anti-Executable クライアントをインストールまたは アップグレードできます。

Anti-Executable クライアントのアンインストール

このオプションを選択すると、Anti-Executable をアンインストールできます。

Faronics Core Console から Anti-Executable コマンドの実行 (コンテキストメ ニュー)

Anti-Executable のコマンドは、コンテキストメニューを右クリックしてアクセスできます。

Faronics Core Console ウインドウの右側にある Faronics Core Console の [アクション] ペインからも Anti-Executable のコマンドにアクセスすることができます。リスト からワークステーションを選択すると、[アクション] ペインにこれらのタスクがリストされます。

保護

Anti-Executable 保護を素早く有効化または無効化するには、1 台以上のワークステー ションを選択して、[アクション]ペインで[保護]>[有効化]または>[無効化]を クリックします。

Maintenance Mode

Anti-Executable が Maintenance Mode で実行されるように設定できます。

キーボードとマウス

[キーボード / マウス]をクリックし、[有効化]または[無効化]を選択すると、1 台または複数のワークステーション上のキーボードとマウスを無効または有効にできます。

AE ユーザーの管理

このオプションを選択すると、Anti-Executable ユーザーを管理できます。

一時実行モード

ー時実行モードにより、指定期間中、Anti-Executable からの操作なしで、ユーザーが 実行可能ファイルを実行できます。ワークステーションを選択して、[一時実行モード]を選択し、[5]、[15]、[30]、[45]、[60]、または[カスタム]を選択します。[一時実 行モード]を無効にするには、ワークステーションを選択し、[一時実行モード]>[無 効化]を選択します。

ローカル管理リストのスキャンの開始

ワークステーション上のファイルをスキャンして管理リストのスキャンを開始します。 ポリシーにファイルまたは発行者を追加することもできます。



ポリシーを再びアサイン

ワークステーションに現在適用されているポリシーを再度アサインします。

Anti-Executable クライアントの設定

このオプションを選択すると、ワークステーションで Anti-Executable クライアントを 設定できます。

Anti-Executable クライアントのインストール / アップグレード

このオプションを選択すると、Anti-Executable クライアントをインストールまたは アップグレードできます。

Anti-Executable クライアントのアンインストール

このオプションを選択すると、Anti-Executable をアンインストールできます。

アクションのスケジュール設定

Anti-Executable および Faronics Core Console は、管理者の都合が良い日と時間に、 1 台以上のワークステーション上でイベントが実行されるようにスケジュールできま す。1 台以上のワークステーションをクリックし、[アクションのスケジュール設定] を選択します。表示されるサブメニューには、以下のような利用可能なアクションリ ストが含まれます。

Faronics Core Console で管理できるアクション

- ・ シャットダウ
- 再起動
- ウェイクアップ

Faronics Anti-Executable で管理できるアクション

- 保護(有効化または無効化)
- Maintenance Mode
- アラート(有効化または無効化)
- 一時実行モード
- 管理リストスキャンの開始
- Anti-Executable のインストール / アップグレード
- Anti-Executableのアンインストール

アクションを選択すると、[スケジュール]メニューが表示され、管理者は頻度(1回限り、毎週、または毎月)を指定することができます。頻度に基づいて、特定の時間、 曜日、日付、月を選択することができます。



ワークステーション上での Anti-Executable Enterprise へのアクセス

Anti-Executable は、ワ-クステーション上で Shift キーを押したまま、Windows のシ ステムトレイの Anti-Executable アイコンをダブルクリックして、アクセスできます。 また、Ctrl+Alt+Shift+F10 ホットキーを使用することもできます。

管理者は、[ステータス]、[実行管理リスト]、[ユーザー]の各タブにアクセスできま す。信頼ユーザーは、[ステータス]タブと[実行管理リスト]タブのみにアクセスで きます。

外部ユーザーは Anti-Executable にアクセスできません。パスワードが設定されている 場合、Anti-Executable 管理者および信頼ユーザーが Anti-Executable にアクセスする には、適切なパスワードを入力する必要があります。



Anti-Executable の使用

この章では Anti-Executable の構成と使用手順について説明します。

トピック

概要 ステータスタブ 実行管理リストタブ ユーザータブ [一時実行モード]タブ セットアップタブ Faronics Core Console を使用した Anti-Executable レポートの作成



Anti-Executable は、保護強化のために複数の管理リストを提供します。以下のコン ポーネントがあります。

 一括管理リスト:一括管理リストは、ファイルと発行者が保存される場所です。 Anti-Executableのインストール後にFaronics Coreを初めて起動すると、一括管理 リストの設定を促すメッセージを受け取ります。コンソールコンピュータ、ネット ワーク上のリモートコンピュータ、またはUNSパスのファイルと発行者を追加す ることで、一括管理リストを設定できます。

Anti-Executable は、一般的に知られているパブリッシャのリストで事前に作成されています。このリストは必要に応じて更新されます。

- ポリシー:ポリシーは Anti-Executable 設定の集まりです。複数のポリシーを作成して、Faronics Core からワークステーションに適用できます。新しいをポリシーを作成したり、既存のポリシーを編集したり、ポリシーを削除することができます。ポリシーでは、一括管理リストの項目を「許可」または「ブロック」に定義できます。
- 実行管理リストは、Anti-Executable がファイルまたは発行者を管理する方法を定 義します。この実行管理リストは、ファイルまたは発行者を「許可」または「ブ ロック」するかどうかを定義します。
- ファイルと発行者のローカルリスト: Anti-Executable をワークステーションに初め てインストールすると、ワークステーションをスキャンし、許可されたすべての ファイルと発行者のリストを作成するオプションがあります。このリストはワーク ステーションにあるため、Faronics Core では表示または編集はできません。各 ワークステーションにはファイルおよび発行者の独自のローカルリストがありま す。

 │ 一括管理リストを大きくしないようにします。一括管理リストが大きく なりすぎると、その設定が複数のワークステーションに適用されるまで に長い時間がかかる場合があります。



−括管理リストの作成

Anti-Executable のインストール後に Faronics Core を初めて起動すると、一括管理リストが空だというメッセージを受け取ります。

- 一括管理リストにデータを入れるには、以下の手順を実行します。
- Anti-Executable をインストールした後に、Faronics Core を初めて起動すると、最初にダイアログボックスが表示されます。その中の[一括管理リストの管理]をクリックします。または、Anti-Executable Loadin を右クリックして、[一括管理リストの管理]を選択します。

Ġ 一括管理リストにデータを読み込みます。
一括管理リストが空です。
ー括管理リストは、Anti-Executableの行動に適用されるポリシー作成のために 使用されるファイルとパブリッシャで構成されます。
一括管理リストにデータを読み込むと、新しいポリシーを作成できます。
[中央制御]ストの管理]
空の一括管理リストについて通知を表示しない(D) 閉じる(C)

2. [Anti-Executable — 括管理リスト] 画面が表示されます。

ファイル名 ファイルのバー 日付 パブリシャ 製品名	- /\#92
	4
追加(A) 削除(R) インボート() エクスボート	

3. [ファイル]ノードで[追加]をクリックします。[一括管理リストへのファイルの追加]ダイアログボックスが表示されます。



4. 参照してコンソールコンピュータのフォルダ / ドライブを選択します。以下のオプションを選択して、[追加]をクリックします。

珈元の選択:		
€- <u>10</u> マイ <u>1</u> マイ 	ドキュメント コンピュータ A:¥ Recyde.Bin Boot	-
	Documents and Settings PerfLogs Program Files Program Data Recovery System Volume Information Users	E
	autoexec.bat	-
] スキャン時にサ] スキャン時にり] スキャン中(201	ブフォルダを含める(I) Lファイルも含める(U) キコントレス cont Micrometa	
ロンタムコメント 2012/04/25」	をコメントフィールドに加える: =(こ FaronicsCoreAdmin によって追加されました	:
	ieto (A	

- > スキャン時にサブフォルダを含める:このオプションを選択すると、スキャン時に、選択したドライブ / フォルダ内のすべてのサブフォルダが含まれます。
- > スキャン中に DLL ファイルも含める:スキャン時に、DLL(ダイナミックリン クライブラリ)が含まれます。
- > カスタムコメントをコメントフィールドに加える:このオプションを選択して、 必要に応じてコメントを編集します。コメントは[集中リスト]に表示されま す。
- 5. [ポリシーの更新]ダイアログでこれらのファイルを1つ以上のポリシーに追加し ます。ドロップダウンリストから[許可]または[ブロック]を選択し、ファイル を追加するポリシーを選択します。

ボリシーの更新 図 追加(P)	許可	 として)次の 	のポリシーに追加す	t る:
Default				



 追加されたファイルが表示されます。選択したファイルを削除するには[削除]を 選択し、ファイルリストをエクスポートまたはインポートするには[エクスポート] または[インポート]を選択します。列のタイトルに基づいてファイルをソートで きます。列ヘッダーで特定の文字列を動的に検索することもできます。

771ル名	ファイルのバー ジョン	日付	パブリシャ	製品名 ▼	ハッシュ
autoexec.bat	Unknown Version	2012/04/25		Unknown Product	E8F2DF75ACA93
memtest.exe	6.1.7600.16385 (win 7	2012/04/25	Microsoft Windows	Microsoft® Windows	8430C56C0518F2
dw20.exe	12.0.6010.5000	2012/04/25	Microsoft Corporation	Microsoft Application	602A70F7B52760
dwtrig20.exe	12.0.6010.5000	2012/04/25	Microsoft Corporation	Watson Subscriber fo	ED04C0A9E0FA1
dexplore.exe	8.0.50727.1826 built	2012/04/25	Microsoft Corporation	Microsoft® Visual Stu	B2EEA1DE97A11
dexplore.exe	9.0.30729.1 built by: SP	2012/04/25	Microsoft Corporation	Microsoft® Visual Stu	F58A6B758FD54
convertinkstore.exe	6.1.7600.16385 (win7	2012/04/25		Microsoft® Windows	D78D3F07AD9B9
flickleamingwizard.exe	6.1.7600.16385 (win7	2012/04/25		Microsoft® Windows	BA6FD322688EB
inkwatson.exe	6.1.7600.16385 (win7	2012/04/25		Microsoft® Windows	697F461DDA5F3
inputpersonalization.exe	6.1.7600.16385 (win7	2012/04/25		Microsoft® Windows	B9413596C9A7B
mip.exe	6.1.7600.16385 (win7	2012/04/25		Microsoft® Windows	CD609F3D20358
pipanel.exe	6.1.7600.16385 (win 7	2012/04/25		Microsoft® Windows	B43F6F8917B2F7
	C + 7000 +000F / · 7	0010/04/05			000000000000000000000000000000000000000

 7. [発行者]をクリックします。コンソールコンピュータの発行者のリストが自動的に 追加され表示されます。発行者を追加するには、[追加]をクリックします。選択し た発行者を削除するには、[削除]をクリックします。発行者リストをインポートす るには、[インポート]をクリックします。発行者リストをエクスポートするには、 [エクスポート]をクリックします。

Anti-Executable 一括管理リス	ト・パプリシャ	×
ファイル 1750シャ	パブリシャ:80Tントリ パブリシャ:80Tントリ パブリシッス、クログラム名、個々のファイル、ファイルパージョンを示す次のリストは、個々のポリシーを通じて詳細な構成 を得ることができます。	
	<u> う自力ロ(A)</u>	
		OK キャンセル(C)

8. [OK] をクリックします。[一括管理リスト]が保存され、ポリシーを通じてワーク ステーションに適用できます。



Anti-Executable ポリシー

ポリシーとは設定の集まりを指します。Anti-Executable ポリシーを作成して、複数の ワークステーションに適用できます。複数のポリシーは要件に応じて作成できます。 Anti-Executable ポリシーを作成するには、以下の手順を実行します。

- 1. Anti-Executable Loadin を右クリックして、[新規ポリシー]を選択します。
- 2. [新規ポリシー]ダイアログが表示されます。ポリシー名を指定して、[OK]をクリックします。

1

3. [ファイル]ノードと[ポリシー]ダイアログが表示されます。

ー フォルタ ー パブリシャ	名前 ファイルのバー AEアクション 信頼 日付	パブリシ
- 一般設定 - 一般実行モード		
	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•



4. [ファイル]ノードで[追加]をクリックします。一括管理リストに追加されたファ イルが表示されます。ファイルを選択して、[追加]ドロップダウンで[許可]また は[ブロック]を選択し、[追加]をクリックします。

項目を追加または削除す	ち場合 <u>中央制御リストの管理</u>]		
ファイル名	ファイルのバー 日付 ジョン ・	 パブリシャ ・ 	製品名
autoexec.bat	Unknown Version 2012/04/25		Unknown Product
ielowutil.exe	8.00.7600.16385 (win 2012/04/25		Windows® Internet
suspend-vm-default.bat	Unknown Version 2012/04/25		Unknown Product
setup_wm.exe	12.0.7600.16385 (win 2012/04/25		Microsoft® Window
ehrecvr.exe	6.1.7600.16385 (win7 2012/04/25		Microsoft® Window
netfxsbs10.exe	4.0.31106.0 (Main.03 2012/04/25	Microsoft Corporation	Microsoft® .NET Fr
mscorsvw.exe	2.0.50727.4927 (NetF 2012/04/25	Microsoft Corporation	Microsoft® .NET Fr
consent.exe	6.1.7600.16385 (win7 2012/04/25	Microsoft Windows	Microsoft® Window
diantz.exe	6.1.7600.16385 (win7 2012/04/25		Microsoft® Window
dinotify.exe	6.1.7600.16385 (win7 2012/04/25		Microsoft® Window
4	III		+

5. ファイルがポリシーに追加されます。

レダ	- ファイル: 4エントリ(1選択済	ファイル: 4エントリ(1)選択済み)					
リシャ -ト	名前	ファイルのバー ジョン	AEアクション	信頼	日付	・ パブリシ	
	setup_wm.exe	12.0.7600.16385 (win	🥏 許可		2012/04/25		
	suspend-vm-default.bat	Unknown Version	🥝 許可		2012/04/25		
	ielowutil.exe	8.00.7600.16385 (win	🥝 許可		2012/04/25		
	autoexec.bat	Unknown Version	🥥 許可		2012/04/25		
	<	III)				٩	
	這加(A) 首仍	余(R) 許可(L)	ブロック(B) インオ	ペート(1) エクスポー	-ト		



C	$\begin{bmatrix} \neg & \mu & \mu & \mu \end{bmatrix}$		
υ.		ノードをクリックレモ、	、[迫加]をクリックします。

	- フォルダ: 0エントリ(0)選択	で済み)			
- パブリシャ - パブリシャ - 戸戸-ト - 一般設定 	名前	AEPクション		۸۷۵۵ ₪	¥

7. 参照して、[ポリシーリストへのフォルダの追加]ダイアログからフォルダを選択 します。または、UNC パスを入力できます。[カスタムコメントをコメントフィー ルドに加える]を選択して、コメントを指定します(オプション)。[追加]をク リックします。



8. フォルダ / ドライブがポリシーに追加されます。

ポリシーの詳細: 1	[×
- ファイル - フォルダ - パブリシャ - アラート - 一般設定 - →時実行モード	- フォルシ: 1エントリ(名前 C:	1選択済み) ■ AEアクション ◆ 許可	日付 2012/04/25		・ コメント 2012/04/25上に Faroni	2
	<u>〕追加(A)</u>		<u>ブロック(6)</u> 1	ンポートの [エクスポー	ト OK キャンセルに	2

9. [発行者]ノードをクリックします。[追加]をクリックします。

👌 ポリシーの詳細: 1		X
ファイル フォルダ パブリジャ アラート	パプリシャ・00エントリ 特定のパブリッシャの詳細を選択して、ポリシー内での実行を許可します。 選択されていない項目は無視されます。	<i>续索</i>
一一版設定		
	i8tn(A) 育昭を(R) インボート エクスポート	
		OK (++)/t2/1/(C)



10.一括管理リストに追加された発行者を選択し、[追加]をクリックします。

Ġ パブリッシャの追加		×
パブリシャ:8のエントリ パブリッシャを選択して、パブリッシャにより署名された特定のファイルバージョン、ファイル、または プログラムの実行を許可します。選択した項目は実行を許可されます。 項目を追加または削除する場合 <u>中央制御リストの管理</u>]	検索	٩
Conduit Ltd. Faronics Corporation Faronics TESTING CERTIFICATE - Unsupported pre-release Microsoft Corporation Microsoft Windows ThinPrint AG		
ThinPrint GmbH		
)合加(A)	(***`\t7\L(C)

11.発行者が追加されます。発行者の一番上のノードを選択し、すべてのサブノードを追加するか、またはサブノードを選択します。

👶 ポリシーの詳細: 1		×
- ファイル - フォルダ - ハズワシャ - ワラート - 一 - 秋政定 - 一 - 秋政元 - 一 - 晴寺実行モード	 パブリシャ: 20エントリー 特定のパブリシシャの詳細を選択して、ポリシー内での実行を許可します。 選択されていない項目は無視されます。 ● ⑦ Faronics Corporation ● ⑦ Microsoft Corporation ● ⑦ Microsoft Corporation ● ⑦ Microsoft Corporation 	
		OK キャンセル(C)



12.[アラート]ノードをクリックします。[変更]をクリックして、ユーザーに対して 表示される画像を変更します。実行管理リスト違反のメッセージまたはブロック通 知メッセージを編集することもできます。

👶 ポリシーの詳細: 1		×
 ファイル フォルダ パブリシャ アラート 一般設定 ー・時実行モード 	Pラート 画像: 変更(H)	ホワイトリスト違反のメッセージ: プラックリスト違反のメッセージ:
		OK (キャンセル(C))

13.[一般設定]ノードをクリックします。以下の設定を行います。

 ☆ ポリシーの詳細: Default ファイル ファイルダ ペプリシャ - アラート - 一般実行そード 	ロギング ログの保存先ファイルU: 4 ローリングログファイル最大 10 MB、40 MBディスク総容里 ステルスモード 通知を表示しない() システムトレイのアイコンを表示しない() 高度なコントロール モニタDLL実行(2)	
	 VBScrip実行のモニタ PowerShellスクリプト実行のモニタ 互換性オプション □ Deep Freeze互換性の有効化(E) QK まヤンセ]

- ロギング:ログファイルにイベントのログを書き込むには、[ファイルへのログの書き込み]を選択します。Windows7のログファイルの場所は、
 C:\ProgramData\Faronics\Storage Space\AEEです。
- Stealth Mode: ステルスモードは、システム上の Anti-Executable の存在を視覚的に 示すアイコンなどを管理する複数のオプションです。ステルスモードでは、管理者 は、Windows のシステムトレイで Anti-Executable のアイコンを非表示にできま す。Anti-Executable がシステムトレイに表示されていない場合、管理者と信頼ユー ザーは、Ctrl+Alt+Shift+F10 ホットキーを使って Anti-Executable を起動できます。 ステルス機能には以下のオプションがあります。
 - > 通知を表示しない:アラートが表示されないようにします。
 - > システムトレイのアイコンを表示しない:システムトレイの Anti-Executable ア イコンを非表示にします。



- DLLの実行:DLLをモニタするには、[DLL実行のモニタ]チェックボックスを選択します。このチェックボックスが選択されていないと、管理リストに DLL が追加されてもモニタされません。
- JAR 実行のモニタ: JAR ファイルをモニタするには、[JAR 実行のモニタ] チェックボックスを選択します。このチェックボックスが選択されていないと、管理リストに JAR ファイルが追加されてもモニタされません。
- VBScript 実行のモニタ:VBScript ファイルをモニタするには、このオプションを選択します。このチェックボックスが選択されていないと、管理リストに VBScript ファイルが追加されてもモニタされません。
- PowerShell スクリプト実行のモニタ: PowerShell スクリプトファイルをモニタするには、このオプションを選択します。このチェックボックスが選択されていないと、管理リストに PowerShell スクリプトファイルが追加されてもモニタされません。
- 互換性オプション: Anti-Executable は Deep Freeze と互換性があります。
 - > Deep Freeze 互換性: この機能は、コンピュータに Deep Freeze と Anti-Executable がインストールされているときにのみ有効になります。Deep Freeze の互換性機能により、管理者は Deep Freeze と Anti-Executable の Maintenance Mode を同期させることができます。「Deep Freeze 互換性の有効 化]チェックボックスを有効にすることで、Deep Freeze が Maintenance Mode になると (Deep Freeze は、Maintenance Mode のときに Thawed で再起動しま す)、Anti-Executable も自動的に Maintenance Mode になります。 Deep-Freeze と Anti-Executable が同時に Maintenance Mode になるように設 定することで、コンピュータに追加された実行可能ファイルは、実行管理リス トに追加されるだけでなく、Maintenance Mode の終了後にコンピュータが保 護されると、Deep Freeze によって保持されます。Anti-Executable では、 Deep Freeze の Maintenance Mode が終了する少し前まで Maintenance Mode が継続します。Anti-Executable の Maintenance Mode が終了すると、実行管理 リストに新しい実行可能ファイルまたは更新された実行可能ファイルが追加さ れます。Deep Freeze の Maintenance Mode が終了すると、更新された実行管 理リストで Frozen になっているコンピュータが再起動します。



Deep Freeze 互換性が有効になっており、Deep Freeze が Frozen になっている場合、Anti-Executable を Maintenance Mode に設定することはできません。これはコンピュータに加えられた変更が再起動によって失われるためです。

Anti-Executable が無効になっているときに、Deep Freeze が Maintenance Mode になると、Anti-Executable は無効の状態が続きま す。

Deep Freeze によって開始する Maintenance 期間は、Anti-Executable で設定されているその他の Maintenance 期間よりも優先します。

Deep Freeze の詳細は、http://www.faronics.com/deepfreeze をご覧ください。

14.[一時実行モード]ノードをクリックします。一時実行モードにより、指定期間中、 Anti-Executable からの操作なしで、ユーザーは実行可能ファイルを実行できます。



この期間中は、制限を受けずに、実行可能ファイルを実行することができます。一時実行モードの期間が終了すると、Anti-Executable が有効になります。

👌 ポリシーの詳細: 1		x
- ファイル - フォルダ - パブリシャ - アラート - 一般設定 - 一般設定 林英行王 - ド	 −時実行モード 	
	OKキャンセルC)

以下のオプションが一時実行モードで使用できます。

- 次のユーザーは一時実行モードにアクセスできます:このチェックボックスを選択 すると、特定のユーザーが各自のシステムで一時実行モードを有効にできます。[す べてのユーザー]、[Anti-Executable ユーザー]、[Anti-Executable 管理者のみ]を 選択します。
- 一時実行モードのログ制限:このチェックボックスを選択すると、一時実行モード 中にログファイルが作成されます。
 - > ログファイルの数:ログファイルの数を指定します(最大10ファイルまで)。ロ グ情報はファイルに連続的に保存されます。たとえば、A、B、Cという3つの ファイルがある場合、Faronics Anti-Executable では最初にファイルAにエラー ログが書き込まれます。ファイルAが一杯になると、ファイルBに書き込み、最 後にファイルCに書き込みます。ファイルCが一杯になると、ファイルAの データが消去され、新しいログデータがそれに書き込まれます。
 - > ファイルのサイズ:各ファイルのサイズを MB で選択します。それぞれが 10 MB の 10 のログファイル (合計 100 MB)を作成することができます。
- 15.[OK] をクリックします。ポリシーが保存されます。



Anti-Executable の設定

1 台のワークステーションをクリックして、[Anti-Executable クライアントの設定]を 選択します。ワークステーションから Anti-Executable 設定が取り出され、以下のタブ が利用できます。

- ・ ステータス
- 実行管理リスト
- ・ ユーザー
- 一時実行モード
- ・ セットアップ



[ステータス]タブにより、Anti-Executable 管理者と信頼ユーザーは、さまざまな設 定、保護の有効化、無効化、Maintenance Mode の設定などが行えます。Faronics Core Console でワークステーションを1台選択し、[Anti-Executable の構成]を選択 すると、ワークステーションの構成が自動的に取得されます。

👌 Faronics Anti-E	😓 Faronics Anti-Executable Enterprise 📃 🗖 💽		
ステータス 実行管 バージョン情報	理リスト ユーザ 一時実行モード セットアップ		
製品:	Faronics Anti-Executable Enterprise		
バージョン:	5.0.2111.515		
ライセンスキー:	有効期限: 5月 24, 2012		
保護			
◎ 有効化(N)			
◎ 無効化(L)			
◎ メンテナンスそ	E-F(T)		
通知問题。(F	₹) <u>1 </u> 分 v		
ステータス Workstation の設	定の取得を完了しました		
取得 (v)	OK キャンセル 適用 ヘルプ		

製品情報の確認

[バージョン情報]ペインには、インストールされている Anti-Executable のバージョンが表示されます。新しいバージョンがある場合、「新規バージョンが利用可能です」と表示されます。詳細は、[更新]をクリックしてください。

Anti-Executable の評価版がインストールされている場合は、[有効期限]フィールドに は、Anti-Executable の有効期限が切れる日付が表示されます。Anti-Executable では、 Windows のシステムトレイに現在のライセンス状況について表示されます。

評価期間の期限が切れると、Anti-Executable でコンピュータが保護されません。 Anti-Executable の有効期限が切れると、以下のアイコンが表示されます。

6

ライセンスキーは Faronics または Faronics パートナーに連絡して入手することができ ます。



Anti-Executable 保護の有効化

インストール後に、デフォルトで Anti-Executable が有効になります。

保護が無効の場合に、ワークステーション上で Anti-Executable の保護を有効にするように通知させるには、[通知間隔]チェックボックスを使用します。

Anti-Executable の Maintenance Mode

Maintenance Mode で Anti-Executable を実行するには、[Maintenance Mode] を選択 して、[適用]をクリックします。Maintenance Mode になっているときに、追加また は修正された新しい実行可能ファイルは、自動的に実行管理リストに追加されます。 Maintenance Mode を終了するには、[有効化]または[無効化]を選択します。

[有効化]を選択すると、Anti-Executable で変更が記録されます。[無効化]を選択すると、Anti-Executable で変更は記録されません。



[キーボードおよびマウスの無効化] チェックボックスは、Faronics Core Console から Anti-Executable にアクセスしている間のみ利用可能 になります。これは、コンピュータでキーボードとマウスが無効になっ ていても、Faronics Core Console を使ってそのコンピュータをリモート で管理できるようにするためです。



コンピュータが Maintenance Mode で実行されている間は、Windows Updates のために十分な時間を取る必要があります。



コンピュータが Maintenance Mode で実行されていて、保護が無効に なっている場合、Maintenance Mode の間にワークステーションに対し て行われた変更は実行管理リストに追加されません。



Faronics Core Console から設定の取得

[ステータス]ペインでは、1台のワークステーションの設定を取得して表示できます。 ワークステーションを1台選択して、Faronics Core Console から Anti-Executable を 起動すると、ワークステーションの設定が自動的に取得されます。

🗟 Faronics Anti-E	👶 Faronics Anti-Executable Enterprise 📃 💽 💽				
ステータス 実行管 バージョン情報	理リスト ユーザ 一時実行モード セットアップ				
	ANTIEXECUTABLE				
製品:	Faronics Anti-Executable Enterprise				
バージョン:	5.0.2111.515				
ライセンスキー:	有効期限: 5月 24, 2012				
保護					
④ 有効化(N)					
◎ 無効化(L)					
◎ メンテナンスモ	Ξド(T)				
通知間隔 (F					
ステータス Workstation の設知	定の取得を完了しました				
取得 (v)	OK キャンセル 適用 ヘルプ				





実行管理リストタブ

[実行管理リスト]タブにより、ローカル管理リストまたは一括管理リストにある項目を許可するかブロックするかを指定できます。

名前	AEアクショ ノ	✓ ^{V-2}	▼信頼	種類	
autoexec.bat 🧧 🧕)許可	ローカル		7r1/1	c:\autoexec.bat 04/2
memtest.exe)許可	ローカル		ファイル	c:\boot\memtest 04/2
convertinkstore.exe)許可	ローカル		ファイル	c:\program files\c 04/2
flickleamingwizar 🧟)許可	ローカル		ファイル	c:\program files\c 04/2
inkwatson.exe 🧧)許可	ローカル		ファイル	c:\program files\c 04/2
inputpersonalizati 🧟	許可	ローカル		ファイル	c:\program files\c 04/2
mip.exe)許可	ローカル		ファイル	c:\program files\c 04/2
pipanel.exe 🧧	許可	ローカル		ファイル	c:\program files\c 04/2
shapecollector.exe	許可	ローカル		ファイル	c:\program files\c 04/2
tabtip.exe 🧧)許可	ローカル		ファイル	c:\program files\c 04/2
٠	•				- F
721エントリ(1選択済み 許可(L) ブロ) ック <mark>(B)</mark>	追加(A)	肖JI除(R)		Identifileの言筆細

Anti-Executable の動作を指定するには、以下の手順を実行します。

1. [ファイルとフォルダの表示]または[発行者の表示]を選択します。

- 2. [ファイルとフォルダの表示]を選択すると、以下の列が表示されます。
 - > 名前
 - > AEアクション
 - > ソース
 - > 信頼
 - > 種類
 - > パス
 - > 追加データ
 - > コメント
- [詳細]>[検索]をクリックして、利用可能なユーザーのリストを表示します。 Anti-Executable 管理者は、ドメインユーザー(またはグループ)とローカルユー ザー(またはグループ)を追加できます。Anti-Executable のリストにユーザーを追 加するには、ユーザーまたはグループをクリックして、[OK]をクリックします。
- 4. [適用]をクリックします。[OK]をクリックします。



ユーザータブ

Anti-Executable では、ユーザーが利用可能な機能を決定するために、Windows のユー ザーアカウントが使用されます。以下の2種類のAnti-Executable ユーザーがありま す。

- 管理者ユーザー 一括管理リスト、ローカル管理リスト、実行管理リスト、ユー ザー、およびセットアップの管理と Anti-Executable のアンインストールができま す。
- 信頼ユーザー Anti-Executable と実行管理リストを設定できます。Anti-Executable のアンインストールは禁止されています。ユーザーまたはセットアップを管理することはできません。

デフォルトでは、Anti-Executable のインストールを行う Windows ユーザーアカウン トが、最初の Anti-Executable 管理者ユーザーになります。その後、この管理者ユー ザーは、既存の Windows ユーザーを、Anti-Executable に追加することができます。

Anti-Executable が有効になっているときに、Anti-Executable 管理者または信頼ユー ザーが無許可のアプリケーションを開こうとすると、[アラート]ダイアログが表示さ れます。

Anti-Executable 管理者または信頼ユーザーの追加

すべての Anti-Executable ユーザーは、既存の Windows ユーザーアカウントです。ただし、すべての Windows ユーザーアカウントが自動的に管理者または信頼ユーザーになるわけではありません。管理者または信頼ユーザーではない Windows ユーザーアカウントは外部ユーザーです。

Anti-Executable にユーザーを追加するには、以下の手順を実行します。

1. Anti-Executable ウインドウの上部の [ユーザー] タブをクリックします。

core	V
<u> 追加_(A)</u>	
ペスワード - AF 信頼コーザ	AF 管理者
□ 有効化 (N)	有效化 (E)
新しいパスワード	新しいパスワード
パスワードの確認:	パスワードの確認:



- 2. [追加]をクリックして、新規ユーザーを追加します。提示されたリストから、 ユーザーアイコンを選択します。
- リストが空の場合、[詳細]>[検索]をクリックして、利用可能なユーザーのリストを表示します。ログインしているドメイン管理者は、他のドメインユーザーを追加することができます。Anti-Executableのリストにユーザーを追加するには、ユーザー名をクリックし、[OK]をクリックします。
- デフォルトでは、追加された各ユーザーは Anti-Executable 信頼ユーザーになります。新規ユーザーに管理者権限を与える場合、[Anti-Executable Admin ロール] チェックボックスを選択して、Anti-Executable 管理者として指定します。

Anti-Executable 管理者または信頼ユーザーの削除

[ユーザー]タブをクリックし、削除するユーザーを選択します。[削除]をクリック します。これにより Windows ユーザーアカウントは削除されません。これでユーザー は外部ユーザーになります。

Anti-Executable パスワードの有効化

保護の強化として、Anti-Executable では、各ユーザーグループにパスワードを付加す ることができます。パスワードは関連づけられたグループのメンバーのみに適用され ます。パスワードを指定するには、[有効化]チェックボックスが選択されていること を確認し、[新しいパスワード]フィールドと[パスワードの確認]フィールドにパス ワードを入力します。変更を保存するには、[適用]をクリックします。

 G Faronics Anti-Executable Enterprise ステータス 実行管理リスト ユーザ →時実行モード セットア ユーザヴルーブ 	רע באר
AE 信頼 core	AE Admin 🗅 — Jk
道加_(A) 削除 (R) パスワード AE 信頼ユーザ 同 有対化 (N)	- AE 管理者 同 有效化 (F)
■ 有次に (V) 新しいパスワード パスワードの確認:	1 有効に (c) 新しいパスワード パスワードの確認:
ステータス Workstation の設定の取得を完了しました 取得 (v)	OK キャンセル 適用 ヘルプ



[一時実行モード]タブ

ー時実行モードにより、指定期間中、Anti-Executable からの操作なしで、ユーザーは 実行可能ファイルを実行できます。この期間中は、制限を受けずに、実行可能ファイル を実行することができます。一時実行モードの期間が終了すると、Anti-Executable が 有効になります。[一時実行モード]タブにポリシーの情報が表示されます。[一時実行 モード]タブの設定はワークステーションでは変更できません。[一時実行モード]タ ブの設定はポリシーの一部なので変更できません。

B Faronics Anti-Executable Enterprise	
ステータス 実行管理リスト ユーザ 一時実行モード セットアップ	
□ 次のユーザは一時実行モードにアクセスできます(T) Anti-Executable管理者のみ マ	r
ステータス Workstation の設定の取得を完了しました	
取得 (v) OK キャンセル 適用	

以下のオプションが一時実行モードで使用できます。

- 次のユーザーは一時実行モードにアクセスできます:このチェックボックスを選択 すると、特定のユーザーが各自のシステムで一時実行モードを有効にできます。[す べてのユーザー]、[Anti-Executable ユーザー]、[Anti-Executable 管理者のみ]を 選択します。
- 一時実行モードのログ制限:このチェックボックスを選択すると、一時実行モード 中にログファイルが作成されます。
 - > ログファイルの数:ログファイルの数を指定します(最大10ファイルまで)。ロ グ情報はファイルに連続的に保存されます。たとえば、A、B、Cという3つの ファイルがある場合、Faronics Anti-Executable では最初にファイルAにエラー ログが書き込まれます。ファイルAが一杯になると、ファイルBに書き込み、最 後にファイルCに書き込みます。ファイルCが一杯になると、ファイルAの データが消去され、新しいログデータがそれに書き込まれます。
 - > ファイルのサイズ:各ファイルのサイズを MB で選択します。それぞれが 10 MB の 10 のログファイル (合計 100 MB)を作成することができます。



一時実行モードの有効化または無効化

一時実行モードは以下の方法で有効にできます。

Faronics Core から:

- ・ 一時実行モードの有効化:1台以上のワークステーションを選択し、
 [Anti-Executable] > [一時実行モード] > [x分](最長 60 分、24 時間、または7日のいずれかを選択)の順に選択します。
- 一時実行モードの無効化:1台以上のワークステーションを選択し、
 [Anti-Executable] > [一時実行モード] > [無効]を順に選択します。

ワークステーションから:

- ・ 一時実行モードの有効化:システムトレイで Anti-Executable アイコンを右クリックし、[一時実行モード]> [x分](最長 60 分、24 時間、または7日のいずれかを 選択)の順に選択します。
- 一時実行モードの無効化:システムトレイで Anti-Executable アイコンを右クリックし、[一時実行モード]>[無効]の順に選択します。

[一時実行モード]が有効になると、ワークステーションのシステムトレイに以下のアイコンが表示されます。





ー時実行モードが終了する3分前にメッセージがワークステーションに 表示されます。



-時実行モード中は、Windows の自動更新は無効になります。

セットアップタブ

Anti-Executable 管理者は、さまざまなユーザーのアクションをログに記録するために ロギングの設定、ステルスモードのさまざまな設定の適用、アラートの設定、互換性の 有効化などができます。

le Faronics Anti-Executable Enterpr	ise		_		×
ステータス 実行管理リスト ユーザ	一時実行モード セットアップ				
ロギング		− 高度なコントロール: モニタ実行	Ŧ		
✓ ログの保存先ファイル(L):	<u>ログの表示</u>	DLL	<u>V</u> BScript	t	
C:¥ProgramData¥Faronics¥St	orageSpace¥AEE¥AE.log	JAR	<u>P</u> owerSl	hell Script	
ステルスモード		互換性オプション			
□ 通知を表示しない(!)		Deep Freeze互換性の	有効化(<u>E</u>)		
システムトレイのアイコンを表示	≂しない(<u>C</u>)				
アラート					
画像:	実行管理リスト達反のメッセージ	ž:			
	この操作は、利用規定に違反	しています			^
					~
	ブロックされた通知:				
	この操作は、利用規定に違反	しています			^
変更(<u>H</u>)					~
	0	K キャンセル	適用	Δ.	ルプ

Anti-Executable でのイベントログの設定

ログファイルにイベントのログを書き込むには、[ファイルへのログの書き込み]を選択します。Windows 7 のログファイルの場所は、

C:\ProgramData\Faronics\Storage Space\AEE です。

DLL 実行のモニタ

DLL をモニタするには、[DLL 実行のモニタ] チェックボックスを選択します。この チェックボックスが選択されていないと、実行管理リストに DLL が追加されてもモニ タされません。

JAR 実行のモニタ

DLL をモニタするには、[DLL 実行のモニタ] チェックボックスを選択します。この チェックボックスが選択されていないと、実行管理リストに DLL が追加されてもモニ タされません。



VBScript 実行のモニタ

-VBScript ファイルをモニタするには、このオプションを選択します。このチェック ボックスが選択されていないと、管理リストに VBScript ファイルが追加されてもモニ タされません。

PowerShell スクリプト実行のモニタ

PowerShell スクリプトファイルをモニタするには、このオプションを選択します。こ のチェックボックスが選択されていないと、管理リストに PowerShell スクリプトファ イルが追加されてもモニタされません。

Anti-Executable のステルス機能

ステルスモードは、システム上の Anti-Executable の存在を視覚的に示すアイコンなど を管理する複数のオプションです。ステルスモードでは、管理者は、Windows のシス テムトレイで Anti-Executable のアイコンを非表示にしたり、アラートが表示されない ようにするオプションを利用できます。

Anti-Executable がシステムトレイに表示されていない場合、管理者と信頼ユーザーは、Ctrl+Alt+Shift+F10 ホットキーを使って Anti-Executable を起動できます。

ステルス機能には以下のオプションがあります。

- 通知を表示しない:アラートが表示されないようにします。
- システムトレイのアイコンを表示しない:システムトレイの Anti-Executable アイ コンを非表示にします。

互換性オプション

Anti-Executable は Deep Freeze と互換性があります。

Deep Freeze 互換性



この機能は、コンピュータに Deep Freeze と Anti-Executable がインス トールされているときにのみ有効になります。

Deep Freeze の互換性機能により、管理者は Deep Freeze と Anti-Executable の Maintenance Mode を同期させることができます。

[Deep Freeze 互換性の有効化] チェックボックスを有効にすることで、Deep Freeze が Maintenance Mode になると (Deep Freeze は、Maintenance Mode のときに Thawed で再起動します)、Anti-Executable も自動的に Maintenance Mode になりま す。

Deep-Freeze と Anti-Executable が同時に Maintenance Mode になるように設定する ことで、コンピュータに追加された実行可能ファイルは、実行管理リストに追加され るだけでなく、Maintenance Mode の終了後にコンピュータが保護されると、Deep Freeze によって保持されます。



Anti-Executable では、Deep Freeze の Maintenance Mode が終了する少し前まで Maintenance Mode が継続します。Anti-Executable の Maintenance Mode が終了する と、実行管理リストに新しい実行可能ファイルまたは更新された実行可能ファイルが追 加されます。Deep Freeze の Maintenance Mode が終了すると、更新された実行管理 リストで Frozen になっているコンピュータが再起動します。



Deep Freeze 互換性が有効になっており、Deep Freeze が Frozen になっている場合、Anti-Executable を Maintenance Mode に設定することはできません。これはコンピュータに加えられた変更が再起動によって失われるためです。

Anti-Executable が無効になっているときに、Deep Freeze が Maintenance Mode になると、Anti-Executable は無効の状態が続きま す。

Deep Freeze によって開始する Maintenance 期間は、Anti-Executable で設定されているその他の Maintenance 期間よりも優先します。

Deep Freeze の詳細は、http://www.faronics.com/deepfreeze をご覧ください。

アラートのカスタマイズ

Anti-Executable 管理者は、[アラート]ペインを使って、ユーザーが実行禁止ファイル を実行しようとしたときに表示されるメッセージと画像を指定することができます。以 下のメッセージを設定できます。

- 実行管理リスト違反のメッセージ
- ブロックされた通知メッセージ

メッセージを入力するか、デフォルトのメッセージを使用します。ユーザーが実行禁止 ファイルを実行しようとすると、このテキストがすべてのアラートダイアログに表示さ れます。

[変更]をクリックして、ファイルを参照し、ビットマップ画像を選択します。選択した画像はアラートダイアログのテキストとともに表示されます。アラートメッセージには、以下の情報が表示されます。

- ・ 実行可能ファイルの場所
- ・ 実行可能ファイル名
- デフォルトまたはカスタマイズされたイメージ
- デフォルトまたはカスタマイズされたメッセージ

以下はアラートダイアログの例です。

F	This action v	iolates the acceptable use policy
	ファイル名:	remshutdn.exe
	場所:	C: \Users \AdminUser \Desktop \remshutdn.exe
	発行者:	不明
	製品名:	Remote Shutdown freeware
	ファイルのバージ	ັ∋່): 1, 1, 1, 1
	種类頁:	アプリケーション
	サイズ:	115.52 KB(118300/기가)
	修正日:	2008/06/05 17:53:10
	説 明:	Remote Shutdown
	このファイルのい	lentifile情報を表示する。
	🔼 詳細の非	表示
オプション	_	
▼実行管理リス	へトで記憶する	
 関連するDLL 	を許可に含める	



Faronics Core Console を使用した Anti-Executable レポートの作成

Anti-Executable には以下のレポートがあります。

- 稼働レポート:各ワークステーションの詳細なレポート
- ・一時実行モードレポート:一時実行モードの間に起動されたすべての実行可能ファ イルの詳細なレポート
- 最もブロックされるプログラム
- ・ 最も違反の多いマシン
- グローバルレポート:一括管理リストへの追加-ファイル
- グローバルレポート:一括管理リストへの追加-発行者
- グローバルレポート:ローカル実行リストへの追加

レポートを表示するには、ワークステーションを右クリックして、[レポートの生成]> [レポートを選択]を選択します。以下のダイアログが表示されます。

Report Name:	Temporary Execu	ition Mode
Report Date:	03/26/2012	•
Report From:	03/26/2012	
Report To:	03/26/2012	

- Anti-Executable には、以下の情報が表示されます。
 - > タイムスタンプ
 - > コンピュータ情報
 - > ユーザー情報
 - > イベント ID
 - > 説明
- 一時実行モードレポートには、以下の情報が表示されます。
 - > タイムスタンプ
 - > ファイル名
 - > ハッシュ



コマンドライン コントロール

この章では Anti-Executable で利用可能なさまざまなコマンドラインコントロールについて説明します。

トピック

コマンドラインコントロール



コマンドラインコントロール

Anti-Executable コマンドラインコントロールにより、他社製の管理ツールおよび中央 管理ソリューションによる Anti-Executable の制御が可能になり、ネットワーク管理者 は Anti-Executable ワークステーションの管理をより自在に行うことができます。以下 のコマンドがあります。



パスワードが設定されたコンピュータでコマンドを実行するには、 /PW=<password> スイッチを使います。適宜、管理者または信頼ユー ザーのパスワードを指定します。



[]のスイッチはオプションです。

機能	コマンド
保護ステータス の表示	[path]AEC status [/pw= <password>]</password>
Anti-Executable を有効にする	[path]AEC Protect On [/pw= <password>]</password>
Ant: Europetable	<pre>[path]AEC Protect Off [/force] [/pw=<password>]</password></pre>
Anti-Executable を無効にする	Anti-Executable が Maintenance Mode になっている場合、 <i>/force</i> というスイッチを使用します。
Ant: Evenutable	[path]AEC version /PW= <password></password>
Anti-Executable のバージョンを 表示する	ユーザーインターフェイスにはライセンスキーが表示されます が (存在する場合)、コマンドラインインターフェイスには表示 されないことに注意してください。
	<pre>[path]AEC Maintenance [/duration=<n>] [/lock] /PW=<password></password></n></pre>
Maintenance Mode を有効に する	スイッチなしでこのコマンドを使用すると、Maintenance Mode が有効になります。/duration= <n> というスイッチを使用す ると、Maintenance Mode が n 分間有効になります。/lock と いうスイッチは、キーボードとマウスを無効にします。/lock は、/duration=<n> とともに使用する必要があります。</n></n>



機能	コマンド
Anti-Executable のパスワードを 変更する	[path]AEC changePassword <aeadmin aetrusteduser=""> /NEWPW=<new password=""> [/pw=<password>]</password></new></aeadmin>
	すでにパスワードがある場合に、パスワードを変更しようとす ると、その古いパスワードが要求されます。
ローカル管理リ ストに「許可」 としてフォルダ やファイルを追 加する	[path]AEC allow <file and="" folder="" name="" or="" path=""> [/pw=<password>]</password></file>
ローカル管理リ ストに「ブロッ ク」としてフォ ルダやファイル を追加する	[path]AEC block <file and="" folder="" name="" or="" path=""> [/pw=<password>]</password></file>
現在のローカル 管理リストを表 示する	[path] AEC displaylcl [/allowed] [/blocked] [/xml] [/pw=Password]
ライセンスキー を更新する	[path]AEC updateLicense <license key=""> /PW=<password></password></license>

説明

< ユーザー入力必須 > [入力任意] [path]: 参照されているファイルが保存されているディスク上の場所

コマンドラインの例

[path]AEC Protect On [/pw=<password>] 上記の例で、[path]が、Anti-Executable コマンドラインインターフェイスファイル (AEC.exe) へのパスになります。





Anti-Executable のアンインストール

トピック

Faronics Core Console を使用した、ワークステーション上での Anti-Executable のア ンインストール

インストーラを使った Anti-Executable Loadin のアンインストール



Faronics Core Console を使用した、ワークステーション上での Anti-Executable のアンインストール

Faronics Core Console を使用して、1 台以上のワークステーションから Anti-Executable を削除できます。Anti-Executable をアンインストールするには、以 下の手順を実行します。

- 1. Faronics Core Console を開きます。
- 2. Faronics Core Console の左側のペインにあるワークステーションアイコンをクリックします。
- 3. ワークステーションリストで、Anti-Executable を削除するワークステーション(複数可)を右クリックします。
- 4. [Anti-Executable] > [Anti-Executable $OPVTVX \mu$] $e \neq 0$



選択したワークステーションから Anti-Executable がアンインストール されると、Faronics Core Console によりワークステーションが再起動さ れてアンインストールプロセスが完了します。



インストーラを使った Anti-Executable Loadin のアンインストール

Anti-Executable は、Anti-Executable_Console_Loadin_Installer.exe をダブルクリック してアンインストールできます。セットアップウィザードが表示されます。

1. [次へ]をクリックして、アンインストールを開始します。



2. [削除]をクリックして、[次へ]をクリックします。

😸 Faronics Anti-Executable Loadin - セットアップウィザード 💿 💌
インストール機能の変更/修復/削除 何をしますか? 次の中から遅んでください
変更(C)hange Faronics Anti-Executable Loadin には独立して変更できる機能はありません
修復(p) 無くなったり壊れてしまったファイルやショートカット、レジストリのエントリを修正する ことにより、エラーを修復します。最近のインストールの状態に復元します。
肖邶余(R) Faronics Anti-Executable Loadin を肖邶余します
バージョン 5.00.2100.515
<戻る(B) 次へ(M) > キャンセル



3. [削除]をクリックします。

🛃 Faronics Anti-Executable Loadin - セットアップウィザード	
プログラムを削除する準備ができました	
削除 ボタンを押すと Faronics Anti-Executable Loadin を削除します。 削り たり変更する場合は 戻る ボタンをクリックしてください。 キャンセル ボタンをク ップウィザードを中断します	余の設定を確認し リックするとセットア
X	-ジョン 5.00.2100.515
< 戻る(B) 削除(R)	**>セル

 Faronics Core Server Service を再起動するには、[はい]をクリックします。 Faronics Core Server Service を後で再起動するには、[いいえ]をクリックしま す。



5. [完了] をクリックします。



Anti-Executable Loadin のアンインストール(プログラムの追加と削除)

Anti-Executable は、[プログラムの追加と削除]を使用してアンインストールできま す。そのためには、[スタート]>[コントロールパネル]>[プログラムの追加と削除]>[Anti-Executable Loadin]>[削除]を選択します。Anti-Executable Loadin をアン インストールすると、Faronics Core Console から、すべての Anti-Executable 管理機 能が削除されます。個々のワークステーションから、Anti--Executable のインストール が削除されるわけではありません。

